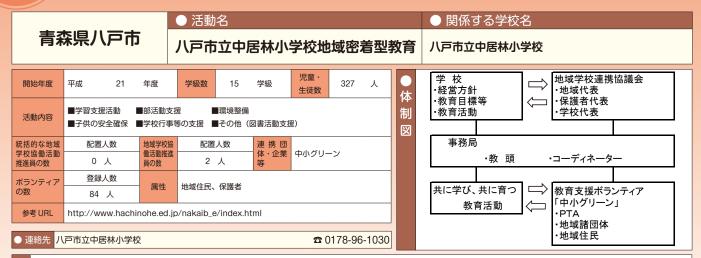
地域・家庭・学校が、共に学び共に育つ「地域密着型教育」



平成 21 年度に八戸市教育委員会の「地域密着型教育推進事業」の指定校となり、地域密着型教育を推進して今年度で9年目を迎える。地域密着型教育を推進するにあたり、地域・保護者・学校の代表者からなる「地域学校連携協議会」を設置し、学校の教育方針や教育活動、地域密着型教育への取組、教育支援ボランティアの状況等について協議している。また、教育支援ボランティアチーム「中小(なかしょう)グリーン」を組織し、2名のコーディネーターが中心になって、ボランティアの募集・連絡・調整等を行い、子供たちのための地域・家庭・学校が連携・協働した活動となっている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 1 図書活動支援
 - 定期的に本の修理や整理、季節にあわせた装飾等といった図書室の環境整備及び読み聞かせ活動を行っている。
- 2 環境整備活動支援
 - 学校農園の整備・耕作、校地内の花壇整備や草取り、側溝の泥あげ及び校内の子供の手が回らない場所の清掃等を行っている。
- 3 生活安全活動支援
 - 毎朝夕の登下校の見守り及び交通安全指導やあいさつ運動を行っている。
- 4 学習活動支援

1年生入学時におけるスタートカリキュラムに関わる支援、家庭科実習活動の補助、校外学習引率補助、放課後補充学習の丸つけ補助といった授業・学習に関わる支援や学校行事に関わる支援を行っている。また、もちつきや焼いも会、地域に伝わる芸能についての指導といった「地域・ふるさと学習」の支援を行っている。

5 部活動支援

部活動での技術指導の手伝い、練習時の安全見守りの手伝いを行っている。

【実施に当たっての工夫】

- 1 地域学校連携協議会で学校の取組についての理解を得た上で、随時、コーディネーターを通じて地域関係団体に協力要請をするなど、地域や家庭と連携・協働できる体制をとっている。
- 2 地域との連携·協働を深めるために、コーディネーターが地域関係団体や人材等の情報収集に努めるとともに、地域連携だより「みどりの風」を作成・発行し、全町内会に回覧し、活動への理解を図っている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・地域学校連携協議会において、子供たちの地域での様子、交通事情や公園設置状況等の地域の状況に関わる情報共有ができ、地域・ 家庭・学校が連携した取組に結びついている。
- ・コーディネーターがボランティア活動の窓口及び推進役となることで教育活動推進の支援体制が整い、読書活動の推進や児童の計算力の向上等につながっている。また、地域の方々の教育活動への理解が進み、ボランティア登録者数が増加し協力団体が広がっている。
- ・保護者や地域の方々が、それぞれの立場での「できる時にできることの実践」を通して、子供たちのために連携・協働することで、 地域の活性化につながっている。



りでいっぱいです「図書室整備」 季節に合った飾



もちつきの指導 「総合 収穫を祝おう」

ポイント

「子供と大人がともに学び、育ちあおう」という姿勢が実践の基本姿勢となって取り組まれ、そして地域 全体で地域の子供の様子を共有し、様々な問題解決につなげようと発展しており、素晴らしいですね。